



子どもの森づくり通信

(発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

J P 子どもの森づくり運動
参加園月例会報
(2019年1月号)

〒146-0082 東京都大田区池上 1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081
<http://www.kodomonono-mori.net> <mailto:info@kodomonono-mori.net>

「J P 子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、
活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。

<今月の1枚>



2019年、最初の子森通信をお送りします。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

写真は、冬の自然体験プログラム「焚火の講座」です。

焚火には、世代を超えて伝わる不思議な魅力があるようですね。

(目次)

1. J P 子どもの森づくり運動2018年活動報告
2. 「東北復興グリーンウェイブ」活動レポート
3. 事務局からのお知らせ / どんぐり博士の「育苗日記」(2019年1月号)

■「J P 子どもの森づくり運動」とは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「J P 子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク(「子森ネット」)が「日本郵政グループ」との協働体制で、全国の保育園・幼稚園・こども園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「J P 子どもの森づくり運動」運営体制

・運 営 : NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク(「子森ネット」)

・特別協賛 : 日本郵政グループ

・後援/協力

(公社) 全国私立保育園連盟

(公社) 国土緑化推進機構

(一社) 日本森林インストラクター協会

NPO法人MORIMORI ネットワーク

(株) 実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部

(公社) 大谷保育協会

NPO法人C・C・C 富良野自然塾

NPO法人自然体験活動推進協議会

(一社) 日本オート・キャンプ協会

保育環境研究所ギビングツリー



1. JP子どもの森づくり運動2018年活動報告

JP子どもの森づくり運動は、2018年10周年を迎え、2019年はこれからの10年の方向性を定める重要な年となります。そのため、2月に彦根市で開催される「**全国集会&研修会2019**」において参加者の方々と直接意見交換させていただくと同時に、今後、できるだけ多くの参加園の皆様からご意見をお聞かせいただければと思います。今月号ではまず現状確認のため、2018年の主な活動について簡単なレポートをお送りします。ご参照下さい。

○「東北復興グリーンウェイブ」の植樹活動が宮古市に拡がりました。

2018年5月21日(月)

・場所：岩手県宮古市「赤前保育園」園庭
・活動内容：宮古市の「赤前保育園」と「津軽石保育所」の年長児26人が参加して、「赤前保育園」の園庭の一角に作られた宮古市の苗畑に、「東北復興グリーンウェイブ」の“どんぐり”の苗木13本が植えられました。「東北復興グリーンウェイブ」の植樹活動が、岩手県山田町から、お隣の宮古市に拡がりました。



○福島県で「東北復興グリーンウェイブ」のはじめての植樹活動が行われました。

2018年6月23日(土)

「東日本大震災」の原発事故の影響で伐採しなければならなかった福島県伊達市の「霊山三育認定こども園」の樹木の再生活動として、福島“どんぐり”の苗木が四本、園庭に植えられました。当日は、「東北復興グリーンウェイブ」のアンバサダー「どんぐり〜ず」もかけつけて、苗木の成長を願って運動のテーマソング「♪どんぐりえがお」ダンスを子どもたちと踊りました。同園の活動は、2019年、「伊達こども園」に繋がります。



○「富良野自然塾」の環境学習プログラム体験ツアーが実施されました。

2018年10月9日(火)、10日(水)

活動10周年企画として、NPO法人C・C・C 富良野自然塾が運営する「富良野自然塾」環境学習プログラム体験ツアーが実施されました。塾長である倉本聡先生には、「子どもの森づくり運動」立ち上げの頃に、活動の理念づくりについてご相談にのっていただきました。その意味で、今回のツアーは、活動10周年の節目の年に、運動の原点を訪ねるツアーとなりました。



○『自然・環境学習プログラム集』作成中！

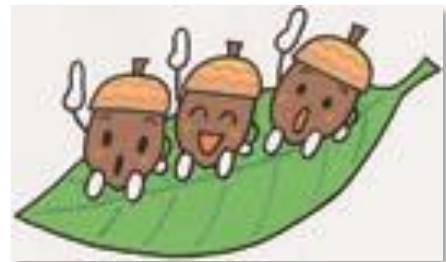
活動10周年記念企画として、“本当に保育に役立つ！”をテーマに、オリジナルの自然体験プログラム集づくりが進行中です。本プログラム集では「本当に役立つ」を実現するために、全国の参加園有志にお願いして掲載プログラムのシミュレーション（トライアル）活動を実施し、現場スタッフの意見をプログラムに反映しました。



2. 「東北復興グリーンウェイブ」活動レポート（活動の詳細は、ホームページでご紹介しております。）

○福岡県「別所保育園」東北の苗木を見送る会

- ・日時：2018年5月11日(金) ○場所：同園1階保育室 ○参加者：年長・年中・年少
- ・日本郵政グループ出席者：八幡西郵便局 八丁氏、山口氏「ぽすくま」（日本郵便のキャラクター）
- ・内容：①職員挨拶 ②代表園児より挨拶 ③郵便局ご担当者ご挨拶 ④郵便局さんと園児が苗木を「絆BOX」に納める
- ⑤みんなで♪どんぐりえがおの歌を歌う ⑥おわりの挨拶 終了



○福井県「大野幼稚園」東北の苗木を見送る会

- ・日 時：2018年5月16日（水）・場所：同園講堂 ・参加者：全園児、教諭、保護者、約50名
 - ・日本郵政グループ：大野郵便局 西尾局長さん、同竹内課長さん
- 東北岩手県山田町より送られてきたどんぐりを園児たちが育て、5本の苗木が元気に育ちました。
園児や保護者の皆さんと「願いを託す大事さ」に触れるねらいのもと『苗木を見送る会』を行いました。



3. 事務局からのお知らせ

1) 保育で活用されている本情報提供のお願い

- ・J P 子どもの森づくり運動では、活動10周年記念企画として「保育で本当に役立つ」をテーマに、自然・環境体験プログラム集を作成中です。2018年度末には、皆様にお届けできる予定です。
- ・同プログラム集では、皆さんが日常の保育で活用されておられる幼児向けの本もご紹介させていただきたいと思っております。つきましては、皆様から、保育の現場で役立つ推薦本情報を募集します。
- ・『この本（絵本）は、なかなか良いよ』『うちでは、この本（絵本）は良く使っているよ』などという推薦本があれば、下記の項目について情報をお送りいただけますでしょうか。

○項目：①書名 ②著者名 ③発行元（出版社）④簡単な推薦文

○送信先：子森ネット *メール：info@kodomonono-mori.net *FAX:03-5755-3081

○締切り：プログラム集編集作業の都合で、2月8日(金)とさせていただきます。



2) ユーチューブチャンネル「子森チャンネル」のご案内

ユーチューブチャンネル「子森チャンネル」では、最新の活動が動画でアップされています。よろしければご覧下さい。

*視聴方法

①「子森ネット」ホームページ (<http://www.kodomonono-mori.net>)

⇒子森チャンネル&通信 ⇒子森チャンネル

②QRコードからもご覧いただけます。



●どんぐり博士の育苗日記(2019年1月号) ～小鳥のサンクチュアリ～

この冬初めて雪らしい雪が積まりました。雪かきを終えて、庭の木々を見ていたら、多くの小鳥たちが訪れていました。その中にシジュウカラの姿も確認できました。

「子森ネット」どんぐり博士：河内和男（森林インストラクター）



我が家の庭には、高さ3mを超す木が13本あります。中でも、シラカシ2本とアカマツ、黒マツは、樹齢が60年以上です。また、準工業地帯のため、近辺に森や農地などの、植物が繁茂する場所が少ない地域です。そんなわけで、我が家の庭は小鳥たちのちょっとしたオアシスになっています。

町中の空きスペースに木を植えて、一番喜ぶのは小鳥たちでしょう。ですから、自然豊かな地域の園庭より、町中で木のある園庭の方が、小鳥たちと身近に接することができるかもしれません。先生方は気付かなくとも、園庭の数本の木々が、小鳥たちのサンクチュアリになっているかもしれません。

そんな庭に呼び込みたい小鳥がシジュウカラです。生息地は自然と人間生活圏の境界付近で、郊外近くや、大きな公園のそばでは町中でも見かけられる小鳥です。スズメくらいの大きさで、喉元から胸にかけてネクタイのような黒い線が入っている白黒2色の小鳥です。シジュウカラの貴重な点は、町中でみられる小鳥の中では、虫をよく食べてくれるということです。シジュウカラが住み着いているサンクチュアリでは、シジュウカラを頂点とした、小さな生態系ピラミッド（食物連鎖）が形成されていることになります。さらにその場所が、地域全体の自然ネットワークとつながっていることの証にもなるのです。

少し難しい話でしたか？ 結論は、木を植えることには沢山の意義があります、ということです。しかし、都市部の生態系は大変不安定です。そんな問題点も、小鳥の生態から見えてきます。そのあたりのお話は次回にしたいと思います。